

2025 年度 活動計画

I 活動目標

- 1 病院領域で働く看護職の課題を発見し、意見を集約する
- 2 看護職の役割の明確化と共に働きやすい環境づくりを支援する
- 3 准看護師の質向上・スキルアップへの支援

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 病院で働く看護職の課題発見のための調査、意見収集
- 2) 看護職の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 3) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

2 活動計画

- 1) 定例会：年 12 回
- 2) 研修会：年 2 回 延定員 200 名
- 3) 調査研究：年 1 回

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し、看護師職能委員会 I の活動を周知する

2 活動計画

- 1) 職能集会・講演会：年 1 回 定員 150 名

公益目的事業（研修会）

項目	内 容	開催日	場 所	募集人数
研 修 会	テーマ：「ナッジを設計し、私の看護現場をよくしよう！」 講師：小池 智子氏 (慶應義塾大学看護医療学部 准教授)	2025. 10. 10 (金)	神奈川県 看護協会	対面 50 名
研 修 会	テーマ：「認知症患者を理解しよう リスクを察知して身体拘束 しない対応ができる看護師になろう」 講師：丸山 理恵氏 (済生会横浜市東部病院 老人看護専門看護師)	2026. 1. 9 (金)	同上	ハイブリッ ド 150 名

会員支援事業

項目	内 容	開催日	場 所	募集人数
職能集会	2024 年度事業報告 2025 年度事業計画	2025. 7. 10 (木)	神奈川県 看護協会	ハイブリッ ド 150 名
講演会	テーマ：「意思決定支援 「患者本人が決める」ことを支援するた めに」 講師：渡邊 眞理氏 (湘南医療大学 保健医療学部看護学科 教授)			

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	意思決定支援「患者本人が決める」ことを支援するために		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	渡邊 眞理氏（湘南医療大学保健医療学部看護学科 教授）		
開 催 日 時	2025 年 7 月 10 日（木）14:00～16:00		
目 的	患者の意思決定を多職種でどのように支援するかのプロセスについて学ぶ		
内 容	講演		
場 所	神奈川県看護協会第 1 研修室（神奈川県総合医療会館 6 階）		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	216 名 （会員 197 名・非会員 19 名）
まとめ・評価	<p>1. アンケート回収 147 名 回収率（委員を除く） 73% 1) 会員：132 名 2) 非会員：15 名</p> <p>2. 職種 1) 看護師：141 名 2) 助産師：3 名 3) 保健師：1 名 4) 准看護師：0 名 5) その他：2 名（学生）</p> <p>3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ：68 名 2) 看護協会のホームページ：30 名 3) 上司からの情報：23 名 4) 友人・知人からの情報：3 名 5) 協会 LINE：21 名 6) その他：2 名</p> <p>4. 参加動機 1) 自ら進んで：121 名 2) 上司の勧め：24 名 3) 同僚の勧め：0 名 4) ホームページを見て：1 名 5) その他：1 名</p> <p>5. 感想 1) 非常に良かった：64 名 2) 良かった：68 名 3) 普通：10 名 4) やや期待はずれ：5 名 5) 期待はずれ：0 名</p> <p>5. アンケート内容 ・いろいろな法律や理念の理解が深まった。ありがとうございました。 ・支援者の能力向上が必要であるとの講義に、学び続けていきたいと思った。 ・事例に対する先生の意見や看護実践を聞きたかった。 ・受講者のマイクが入ってしまい聞き取りにくいところや動画が一部見づらかった。</p> <p>6. 評価 患者の意思決定支援を行うことが 2024 年度の診療報酬改定において入院基本料の通則に盛り込まれ研修を企画した。今回の研修では、高齢患者の意思決定支援やそれに関わる必要な法律・ガイドラインなど詳細な説明があり、意思決定支援をしていく過程での基本的な原則を学べた。 アンケート結果では、約 90%の受講者が「非常に良かった・良かった」との回答があり、満足度が高かったと評価する。 講師への質問の際に、事例に関する具体的な意思決定支援の方法についての質問が多く、実践での悩みがあるのではないかと感じた。今後、意思決定支援についての具体的な事例を踏まえ、支援者の能力向上を目指した研修会を検討していく。</p>		

